

三重県に被害を及ぼした主な地震

西暦(和暦)	地域(名称)	M	主な被害
684.11.29(天武13)	土佐その他南海・東海・西海地方	8 1/4	(南海トラフ沿いの巨大地震。諸国で家屋の倒壊、津波あり、死傷者多数。)
887. 8.26(仁和3)	五畿・七道	8~8.5	(南海トラフ沿いの巨大地震。京都で家屋倒壊多く、圧死者多数。沿岸部で津波による溺死者多数。)
1096.12.17(永長1)	畿内・東海道	8~8.5	東海道沖の巨大地震と考えられる。伊勢で津波被害あり。
1099. 2.22(康和1)	南海道・畿内	8~8.3	(南海沖の巨大地震と考えられる。興福寺、摂津天王寺などで被害。)
1361. 8. 3(正平16)	畿内・土佐・阿波	8 1/4~8.5	(南海トラフ沿いの巨大地震。各地で、地震動、津波により、死者多数。)
1498.9.20(明応7)	東海道全般	8.2~8.4	南海トラフ沿いの巨大地震。沿岸部で津波被害。伊勢大湊で溺死者5,000など
1605 .2. 3(慶長9)	(慶長地震)	7.9	南海トラフ沿いの巨大地震。沿岸部に津波来襲。
1707.10.28(宝永3)	(宝永地震)	8.4	南海トラフ沿いの巨大地震。尾鷲付近で、死者1,070以上、家屋流失1,510。その他県内で、死者57、負傷者73、家屋全壊2,333、同流失601。
1854. 7 .9(安政1)	伊賀・伊勢・大和および隣国(伊賀上野地震とも呼ばれる。)	7 1/4	伊賀上野付近で死者約600、家屋全壊2,000余、周辺でも被害あり。
1854.12.23(安政1)	(安政東海地震)	8.4	(東海道沖の巨大地震。地震動及び津波により、関東から近畿にかけて被害。住家全壊・焼失約30,000、死者2,000~3,000。)
1854.12.24(安政1)	(安政南海地震)	8.4	(南海沖の巨大地震。安政東海地震の被害と区別するのが難しい。)
1891.10.28(明治24)	(濃尾地震)	8	北部を中心に被害。死者1、負傷者17、家屋全壊625。
1899. 3. 7(明治32)	紀伊半島南東部(紀伊大和地震とも呼ばれる。)	7	南部を中心に被害。木ノ本・尾鷲で死者7、負傷者62、家屋全壊35。
1944.12. 7(昭和19)	(東南海地震)	7.9	地震動及び津波により被害。死者・行方不明者406、負傷者607、住家全壊1,826、同流失2,238。
1946.12.21(昭和21)	(南海地震)	8	地震動及び津波により被害。死者11、負傷者35、住家全壊65、同流失23。
1960. 5.23(昭和35)	(チリ地震津波)		津波により被害。住家全壊2、同流失1

※主な被害は県内の被害。県内の被害が特定できない場合は()内に全体の被害を記述。

※この表は、総理府地震調査研究推進本部地震調査委員会編「日本の地震活動図」より転記。